

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52231	幼児と環境 Infants and the environment	太田美鈴	✓	共通	1	必修	1後期
科目の概要							
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されるように保育は環境を通して行う。領域「環境」のねらい・内容を理解し、保育の全体的構造の中の位置づけを知る必要があり、環境構成は保育者が意図的に構成しなければならない。その上で乳幼児の発達を理解し、領域「環境」の具体的な保育場面を想定した保育の構想と指導法を実践する。さらに、獲得した知識・技術を活用し、課題解決力を身に付ける。★保育者としての実務経験があり、保育の専門的知識や技術を生かした講義や演習を実施する。							
学修内容				到達目標			
① 幼児理解に基づいた保育の構想の重要性を理解する ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材の活用法を理解する ③ 具体的な保育内容を想定した指導計画の作成方法を理解する ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つ ⑤ 環境の特性に応じた実践の動向を知る				① 幼児理解に基づいた保育の構想ができる ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材を活用した保育ができる ③ 具体的な保育内容を想定し、指導計画を作成することができる ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つことができる ⑤ 環境特性に応じた実践動向を知り、改善に取り組むことができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	環境構成を積極的に考えることができる					
	働きかけ力						
	実行力	環境構成について多面的な視点から調べ、様々な環境構成の構築に活用できる。					
考え抜く力	課題発見力	身近な環境を保育内容に関連付け、ねらい・内容につなげることができる。					
	計画力						
	創造力	保育内容（環境）のねらい・内容を自身の生活や経験と結びつけて考えることができる。					
チームで働く力	発信力	自身で考えた、ねらい・内容を他者に分かりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	他者の考え方の要点を理解し、自身との相違点を尊重することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：実践例から学びを深める 環境指導法 編著 小櫃智子・小山朝子・相楽真樹子・善本眞弓・北澤明子・福田篤子 わかば社 参考文献：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」「幼保連携型認定こども園保育教育要領解説書」							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉） 資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格 准学校心理士 認定絵本士							
学修上の助言				受講生とのルール			
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。				テキストや保育所保育指針等を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと 授業以外でも自主的に観察や世話を進んで行う			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	40	①	✓	・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」について理解できている。10点 ・環境構成の重要な要素をねらい・内容から理解して考えることができる。10点 ・記述式の設問を入れ、獲得した知識・技術を活用し、応用的に整理できているかを評価する。20点
				②		
				③	✓	
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点 演習準備に不備がない。5点 演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点 自身の経験と結びつけて考え、調べ、工夫して作成していることが見て取れる。10点 環境構成の重要性を理解し、教材研究に努力した作品が作成できる。10点×2		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 （実行力）畑の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。 （課題発見力）保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 （創造力）課題を表現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 （発信力）自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 演習支度を授業開始前に済ませ授業開始を待てる。 受講態度（学習意欲欠如）が見られる場合は減点対象である 6回以上の欠席は放棄判定となる	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
環境の特性を理解し、保育の内容を意識して環境構成する力を持つ。また、チームで積極的に取り組み、動植物の生育に対する観察・考察を深め、保育者を意識した取組ができる。 総合評価し90点以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	作品、レポートなど課題に対し保育者を意識した取り組みができる。 総合評価し79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 子どもと環境について学ぶ。 環境は子どもの発達に必要であることを理解する。	講義 演習 グループ討議 (子どもと環境について) 討議の内容を解説しフィードバックする。	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の学修方法を知ることができる。 環境は人が生きていくうえで大切なものであることや幼児教育にとっての重要性を認識することができる。	(復習) テキスト1-11を読み、自分の考えをまとめておく。	90	傾聴力 規律性
2	子どもを守る安全な環境について、保育の最も基本である子どもの「安全」を保障することを学ぶ。 教育実習を念頭におき実践的に理解をする。	前回の学びを質疑応答しフィードバックする。 講義 DVD視聴(安全保育) グループ討議 DVDから子どもの安全を守るための配慮について発表を解説しフィードバックする。	子どもの安全に配慮した環境構成を発表し、安全な環境について理解できる。	(予習) 保育室の安全な環境を考えておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	保育内容・領域「環境」について学ぶ。 生活、遊び、発達の視点から考える。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 講義 保育の基本を再確認し、様々な視点からの環境について学ぶ。	子どもの発達などと環境との関連性を見出し、環境の重要性を理解できる。	(予習) テキスト12-23を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	保育内容・領域「環境」の展開について学ぶ。 乳児保育の3つの視点の展開及び1歳以上3歳未満児の保育の展開を事例を通して理解する。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 演習 グループで事例検討をし発表する。 発表の解説をしフィードバックする。	保育者の援助・配慮をイメージし保育の展開方法が理解できる。	(予習) テキスト24-37を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返り、他者の意見を参考に保育の展開を改善する。	90	主体性 実行力 創造力 柔軟性 規律性
5	保育内容・領域「環境」の展開について学ぶ。 3歳以上児の保育の展開を事例を通して理解する。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 演習 グループで事例検討をし発表する。 発表の解説をしフィードバックする。	保育者の援助・配慮をイメージし保育の展開方法が理解できる。	(予習) テキスト24-37を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返り、他者の意見を参考に保育の展開を改善する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	保育の過程について学ぶ。 子ども理解から計画、実践、評価、改善のPDCAサイクルを理解する。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 講義 演習 グループで指導計画の事例検討、発表をする。 事例検討の考察を解説しフィードバックする	事例を通して保育の過程と子どもの発達の関係性を理解できる。	(予習) テキスト38-46を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	幼児と楽しむ自然体験 自然を取り入れた遊びを体験をし、遊びを通して学ぶことの意味を理解する。 ピンチを探せ、葉っぱの一生、フィールドビンゴなど	演習 グループで、自然を取り入れた遊びを体験する。 レポート作成 本日の授業を振り返りまとめる。	幼児期からの環境学習の必要性和遊びを通して学ぶことの意味を理解できる。	(予習) ネイチャーゲームアクティビティを調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	教材研究① 「自然物を使った遊び」を考案し、保育内容・領域「環境」のねらい・内容と子どもの発達との関係性を理解する。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 演習 落ち葉の窓、フィールドビンゴを作成する 作品を解説し、フィードバックする。	幼児が経験する環境を整えることは保育者の役割であることを理解し教材研究の必要性が分かる。	(予習) 身近な自然素材を調べ保育内容としての活用を考える。 (復習) 本日の保育内容の指導案を作成しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教材研究② ものとのかかわりの実践について学ぶ。 子どもの発達に合った手作りおもちゃを考案する。	講義 子どもの発達とおもちゃの関係について 演習 子どもの発達に合ったおもちゃを制作する。 作品を解説しフィードバックする	子どもの発達に合わせておもちゃを考案制作することができる。	(予習) テキスト48-59を読んでおく。 (復習) 他者の考案したおもちゃを見て、改善する。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	教材研究③ 自然とのかかわりの実践について学ぶ。 「自然との関わり・生命の尊重」に関する具体的な活動や保育環境の工夫を知る。	講義 保育における子どもと自然、生命の尊重など育まれる力について学ぶ。 演習 絵本を通した命の教育 作品について解説しフィードバックする。	自然とのかかわり方や生命の尊重など保育の展開ができる。	(予習) テキスト60-81を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返り他の保育実践を考える。	90	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	教材研究④ 数量・図形とのかかわりの実践について学ぶ。 子どもの発達に合わせて、生活や遊びの中で展開する方法を理解する。	講義 子どもの発達と数量・図の形概念について 演習 グループで事例検討をし発表する。 発表を解説しフィードバックする。	数量・図形を取り入れた保育実践の意義を理解でき、発表ができる。	(予習) テキスト82-93を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返り他の保育実践を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
12	教材研究⑤ 標識・文字とのかかわりの実践について学ぶ。 子どもの発達に合わせて、生活や遊びの中で子どもの必要性に基づく保育展開の方法を理解する。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 講義 こどもの必要性に基づく標識・文字について 演習 グループで事例検討をし、発表する。 発表を解説しフィードバックする。	子どもの必要性に基づく、標識・文字を取り入れた保育展開の方法が理解できる。 グループの考えをまとめ発表できる。	(予習) テキスト94-103を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
13	身近な情報とのかかわりの実践を学ぶ。 子どもの生活や遊びの中の情報を理解し、保育の展開の方法を学ぶ。	講義 近年の子どもを取り巻く情報環境について 演習 グループで事例検討をし発表する。 発表を解説しフィードバックする	身近な情報を取り入れた保育展開の方法が理解できる。	(予習) テキスト104-111を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	身近な施設・地域、様々な文化とのかかわりの実践について学ぶ。 地域の人々とのかかわりや様々な文化とのかかわりと子どもの発達について理解する。	講義 子どもと社会について 演習 グループで事例検討をし発表する。 発表を解説しフィードバックする。	身近な社会の文化を取り入れた保育展開の方法が理解できる。	(予習) テキスト112-121を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	小学校との連携・接続の実践や現代的課題について学ぶ。 保育内容・領域「環境」と保育者の役割を再確認する。	講義 幼保小連携プログラムについて 15回のまとめを解説し、フィードバックする。	幼児と環境で学んだことを保育実践に活用しようとする知識、技術、意欲がある。	(予習) テキスト144-155を読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力